

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年10月15日(2015.10.15)

【公開番号】特開2014-45861(P2014-45861A)

【公開日】平成26年3月17日(2014.3.17)

【年通号数】公開・登録公報2014-014

【出願番号】特願2012-189800(P2012-189800)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/10 R

【手続補正書】

【提出日】平成27年8月28日(2015.8.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記目的を達成するため、本発明に係る眼科装置は、互いに異なる複数の測定情報を含む検査セットに基づいて被検眼上で測定光を走査して前記被検眼の測定を実行する走査手段と、

固視光により前記被検眼を所望の測定位置に固視させる固視手段と、

前記検査セットに含まれた第1の走査条件での前記被検眼の測定が終了した後に前記第1の走査条件の次ぐ第2の走査条件で、前記走査手段が前記被検眼の測定を継続するか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段により前記被検眼の測定が継続されると判定した時に、前記第2の走査条件での前記被検眼の測定のために前記固視光を変更する固視灯制御手段と、を備え、  
前記固視灯制御手段は、前記第1の走査条件での前記被検眼の測定が終了した後に前記固視灯制御手段により前記固視光が変更されるまで前記固視光を消灯させないことを特徴とする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また、上記目的を達成するために、本発明に係る眼科装置の制御方法は、固視手段による固視光により被検眼を所望の測定位置に固視させ、

互いに異なる複数の測定情報を含む検査セットに基づいて前記被検眼上で測定光を走査して前記被検眼の測定を実行し、

前記検査セットに含まれた第1の走査条件での前記被検眼の測定が終了した後に前記第1の走査条件の次ぐ第2の走査条件で、前記被検眼の測定を継続するか否かを判定し、

前記被検眼の測定が継続されると判定された時に、前記第2の走査条件での前記被検眼の測定のために前記固視光を変更し、

前記第1の走査条件での前記被検眼の測定が終了した後に前記固視灯制御手段により前記固視光が変更されるまで前記固視光を消灯させない、ことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

互いに異なる複数の測定情報を含む検査セットに基づいて被検眼上で測定光を走査して前記被検眼の測定を実行する走査手段と、

固視光により前記被検眼を所望の測定位置に固視させる固視手段と、

前記検査セットに含まれた第1の走査条件での前記被検眼の測定が終了した後に前記第1の走査条件の次ぐ第2の走査条件で、前記測定を継続するか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段により前記被検眼の測定が継続されると判定した時に、前記第2の走査条件での前記被検眼の測定のために前記固視光を変更する固視灯制御手段と、を備え、

前記固視灯制御手段は、前記第1の走査条件での前記被検眼の測定が終了した後に前記固視灯制御手段により前記固視光が変更されるまで前記固視光を消灯させないことを特徴とする眼科装置。

【請求項2】

前記走査手段の前記測定光の走査条件を変更する走査条件変更手段を更に有し、

前記走査条件変更手段が前記走査条件を変更すると共に前記被検眼の測定が継続されると前記判定手段が判定したことに応じて、前記固視灯制御手段は前記固視光を変更することを特徴とする請求項1に記載の眼科装置。

【請求項3】

前記固視灯制御手段は、前記固視手段に、前記固視光の変更として前記固視光の点灯位置を変えさせることを特徴とする請求項1に記載の眼科装置。

【請求項4】

被検眼上で測定光を走査して前記被検眼の測定を実行する走査手段と、

所望の測定位置へ前記被検眼を固視光で固視させる固視手段と、

複数の走査条件が実行される順序を示す測定情報に基づいて前記走査手段に前記測定を実行させる検査セット手段と、

第1の走査条件による前記測定が終了した後に、前記第1の走査条件に次ぐ第2の走査条件で前記走査手段による前記測定が開始されるか否かを判定する判定手段と、

前記固視手段により前記被検眼を固視させて第一の固視誘導を実行させ、前記第1の走査条件に次ぐ第2の走査条件で前記走査手段による前記測定が開始されると前記判定手段によって判定された場合に、前記固視手段により前記被検眼を固視させて第二の固視誘導を実行させる固視灯制御手段と、備え、

前記固視灯制御手段は、前記第1の走査条件での前記被検眼の測定が終了した後に前記第二の固視誘導が開始されるまで前記固視光を消灯させないことを特徴とする眼科装置。

【請求項5】

前記固視灯制御手段は、前記被検眼上において前記固視光を走査させる固視光走査手段を備えることを特徴とする請求項4に記載の眼科装置。

【請求項6】

前記測定において、前記測定光の走査によって得られる前記被検眼の画像を撮像する撮像手段を更に有することを特徴とする請求項1乃至5の何れか一項に記載の眼科装置。

【請求項7】

固視手段による固視光により被検眼を所望の測定位置に固視させ、

互いに異なる複数の測定情報を含む検査セットに基づいて前記被検眼上で測定光を走査して前記被検眼の測定を実行し、

前記検査セットに含まれた第1の走査条件での前記被検眼の測定が終了した後に前記第1の走査条件の次ぐ第2の走査条件で、前記被検眼の測定を継続するか否かを判定し、

前記被検眼の測定が継続されると判定された時に、前記第2の走査条件での前記被検眼の測定のために前記固視光を変更し、

前記第1の走査条件での前記被検眼の測定が終了した後に前記固視灯制御手段により前記固視光が変更されるまで前記固視光を消灯させない、ことを特徴とする眼科装置の制御方法。

【請求項8】

所望の測定位置へ前記被検眼を固視手段の固視光で固視させ、

走査手段により被検眼上で測定光を走査して前記被検眼の測定を実行し、

複数の走査条件が実行される順序を示す測定情報に基づいて前記走査手段に前記測定を実行させ、

第1の走査条件による前記測定が終了した後に、前記第1の走査条件に次ぐ第2の走査条件で前記走査手段による前記測定が開始されるか否かを判定し、

前記固視手段により前記被検眼を固視させて第一の固視誘導を実行させ、前記第1の走査条件に次ぐ第2の走査条件で前記走査手段による前記測定が開始されると判定された場合に、前記固視手段により前記被検眼を固視させて第二の固視誘導を実行させ、

前記第1の走査条件での前記被検眼の測定が終了した後に前記第二の固視誘導が開始されるまで前記固視光を消灯させないことを特徴とする眼科装置の制御方法。

【請求項9】

請求項7又は8に記載の眼科装置の制御方法の各工程をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。